

マレーシアでSIMカードを購入するには

<短期滞在の場合のオススメSIM>

つながりやすさからTune Talk, Celcom, maxis (hotlink)の3択、他にDigiとかYes等あるが全般的に電波は弱い

<中長期および複数回滞在の場合のオススメSIM>

Tune Talk (Celcomの回線を使ったMVNO)が一押し

Tune Talkの○×

- 通話料、データ通信プランいずれもお手頃価格
- RM 38 払うと1年間電話番号が有効 (他の会社は番号維持のためRM1/day相当の入金が必要) (なお2016年9月現在、キャンペーン価格でRM 28)
- AirAsiaを利用の場合、あらかじめ申し込んでおけば、到着後すぐに入手できる。
- 各種キャンペーンが充実している
- ×高額では無いがパケット課金されるので、データを使う場合はデータプランを申し込んでおいた方がよい
(Celcom, hotlinkはベースのデータ通信(極めて遅い)分は料金がかからない)

<simの買い方>

パスポートの提示が必要。看板が出ているところだけでなく、携帯電話を売っている屋台にはたいがい各社のSIMが売られている。空港でも到着ロビーを出たところに行くとある。通話のためのsimが欲しい旨伝える。電話を渡すと設定をしてくれる。

たいてい、SIMは約RM10で5RM程度の通話料がついている。有効期限が5日程度なので、1週間いる場合はチャージ(馬国ではtopupと呼ばれている)する必要がある。最低額の10RMあれば十分。その場でもお願いしても良いし、不要と答えて、後でコンビニ等でも良い。

<topupの仕方>

コンビニ等で「tune talk topup (例えば) 10 ringgit please」と言うと、16桁の数字の書いたレシートをくれる(スクラッチカードの場合もあり)。

→simの入った電話で、「* 111 * 16桁の数字#」を入力し、電話をかける。うまくtopup出来ていると、SMSが帰ってくる。

<通話料金>

電話代はかなり安い。30秒RM0.1(3円以下)程度、国際電話でも固定電話宛てならそのくらい。携帯電話宛てだとその4~10倍。

<有効期限、残高、自分の電話番号の確認方法>

Tune Talk	Celcom	Hotlink (電話番号は出ない)
* 133 # に電話	* 124 # に電話	* 122 # に電話

クアラルンプール国際空港 (KLIA/KLIA2) から市内への移動方法 (時間・料金等の変更の可能性があるので、最新情報を確認すること)

【鉄道】55 RM (2015年に値上げ)

KLIA/KLIA→KL Sentral 駅: 特急 (KLIA Ekspres) の始発5:00、終電24時40分。30分弱で到着。15~20分間隔で運行。在来線も並行して走っている。

<https://www.kliaekspres.com/plan-buy/schedule/>

市内: LRTが便利。始発6:00、終電23時すぎ。

<http://www.myrapid.com.my/rail/operating-hours>

【バス】1時間程度で到着。但し、渋滞につかまるととんでもなく時間がかかる。チケットには出発時間と座席番号が書いてあるが、皆さんお構いなしに来たバスの好きな座席を利用している。

(KLIA→KL Sentral の場合)

料金RM10、始発5:30、最終24:30、30分間隔で運行。

http://www.airportcoach.com.my/index.php?option=com_content&view=article&id=117&Itemid=539

(KLIA2→KL Sentral の場合)

料金RM10、始発5:00、最終26:45(2:45am)、30分間隔で運行。

<http://www.skybus.com.my/schedule/>

(KLIA←→KLIA2シャトルス)

【タクシー】荷物の多さと人数により色々(鉄道の値上げで、時間に余裕があり、かつ複数人で利用する場合は、タクシーの方がコストパフォーマンスが高くなった)

到着ロビーに出る直前に、チケット売り場があるのでそこで支払ってタクシーの運転手にはクーポンを渡すという明朗会計になっている。ロビーを出た後でも、外に向かって右側に行くとカウンターがある。

料金:

バジェット(3名): 市内まで74.3 RM

プレミア(4名): 102.1 RM

ファミリー(4~8名): 199.8 RM

<http://malaysiajp.com/klia/u-06.html>

市内の移動方法について

【鉄道】

・LRTとモノレール、在来線がある。

LRT・モノレールの乗り方については、「クアラルンプールのLRT」、「マレーシアマガジン」で検索すると、分かりやすいページが出てくる。

【バス】

・無料バス: GoKLという無料バスが走っている。

<http://www.gokl.com.my/>

・路線バスは経路が分かれば便利。


【タクシー】


・いつ、誰が乗ったか分からないと、犯罪もしやすくなるので、流しのタクシーは乗らない方が安全。その意味では、誰かに見送ってもらうと少し安全。ホテルの前などにあるタクシーサービスや、「MyGrab」というスマホのアプリを使って呼び出すと少し安全。赤白のタクシーよりは青いタクシーの方が、少し料金が高い分、安全とされている。

(KLオフィスでは、短期来訪用に本機を貸し出していますので、ご希望の方はオフィス等にご連絡下さい)


Nokia 105簡易マニュアル

※SIMカードが入っていないと操作できないので、ダミーのSIMが入っている(ものもある)。


○電源のON/OFF→「キー」長押し


○分からなくなったら→キー
元に戻るには→


○電話をかけるには
(方法その1)

電話番号入力→キー

(方法その2)

何とか電話番号を表示(contact list、着信リスト、
不在着信リスト、発信リストetc)→キー


○電話を切るには→キー

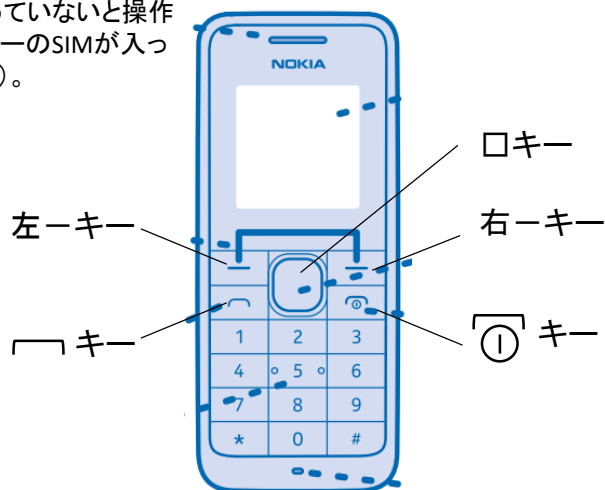
○電話に出るには→キー

○キーボードをロックするには

→「右キー」→Lock Keypadを選択し「左キー」

○キーボードロックを解除するには

→「キー」→「左キー」→「*キー」長押し



○サイレントモードの設定/解除をするには
→「#キー」長押し

○LEDライトを点けるには
→「上キー」上の方に2回押す

○LEDライトを消すには
→「上キー」上の方に1回押す

マレーシアの食事について1

<屋台>

- ・一度食中毒を起こすと一生営業許可が下りないほど厳しい指導があるため、見た目はそれほどでも無いが、屋台の食べ物も安心して食べられる。
- ・基本的にいい人達なので、「ぼる」ようなことは先ず無い。
- ・値段は書いていないことが多いが、そんなに高くないので、大丈夫。

<セルフサービスのお店(サービスランチとか言われるもの)>

- ・ご飯をもらい、適当に食べたいものをもって、会計する。
- ・種類と量を目分量で判定するので、会計のばらつきが多い。
- ・値段は書いていないことが多いが、大体の目安は次の通り。

白飯-1~1.5 RM位

野菜もの(備え付けさじ1杯)1~1.5 RM位

肉類(1個もしくは備え付けさじ1杯):3~5 RM位

魚類(1個):4~5 RM位

肉や野菜の煮汁:無料(白飯にかけて食べても白飯の値段でOK)

(目安:野菜2、肉1の組み合わせで、学食で5~7RM程度、外で7~10 RM程度)

<ドリンク>

- ・ドリンクの注文を必ず聞いてくる。皆さん頼んでいるようだが、必須ではない。
- ・ローカルのお店では、お茶系で1~2RM(アイスにすると1RMほどup?)、炭酸系で2.5RM位

<味(料理)>

- ・大体おいしい。
- ・辛かったり、脂っこかったりするので注意。
- ・麺類はコシが無いことが多い。
- ・インド料理、中華料理、マレー料理が影響し合い、それぞれ独自の進化をしている。
- ・日本料理も普通においしい。

<味(飲み物)>

- ・大体の飲み物は砂糖が入っている。
- ・ペットボトル飲料は緑茶でウーロン茶でも甘い。
- ・100 plusという炭酸系イオン飲料は、それほど甘くもない。
- ・中華系料理屋の中国茶は甘くない。
- ・お店で甘くない飲み物を飲みたい時には、without sugar, without milkとしつこく言う

<テイクアウト(馬国ではtake awayと言う)>

- ・食べきれなかったら、レストランや宴会でも、お持ち帰りができる。
- ・その際、ビニール袋を多用。
- ・飲み物のテイクアウトでもビニール袋が使われる。ホットコーヒーでもビニール袋とストローで出てくる。

マレーシアの食事について2

<注文と支払い>

【屋台】注文品と引き替えに支払い

【セルフサービスのお店】

適当に食べたいものをとる

→(支払いパターン1)お店の人に見せてその場の支払う。

→(支払いパターン2)お店の人に見せて、伝票をもらい、食べた後に支払う。

→(支払いパターン3)座って食べ始める、ドリンクの注文ついでに、伝票を置いていくので、食べた後に会計をする。

→(支払いパターン4)食べた後に、自己申告して会計をする。

【ローカルのお店:後会計タイプ(インド料理屋に多い)】

(注文パターン1)席に座って適当に注文、

(注文パターン2)適当に食べたいものをもって席に座り食べ始めるとお店の人が来てドリンクの注文をしつつ内容をチェック。

→伝票か番号札のようなものをくれる。

→食べ終わった後に伝票もしくは番号札を持って会計

(屋台に毛が生えたような店でも、タブレットとICカードを用いた会計システムを使っていたりして驚くことがある)

【ローカルのお店:商品引き替えタイプ(中華料理屋に多い)】

1. 席に座って適当に注文

2. 注文品と引き替えに支払い

マレーシアの食事について3

マレーシア朝ご飯の2大派閥

・ロティチャナイ (Roto Canai)

薄くのばした生地を焼いたパイとクレープを足したようなインド風パン。これにカレーが付いてくる。RM 1~1.5程度

・ナシレマ (Nasi Lemak)

ココナツミルクで炊いたご飯に、サンバルという甘辛いソースを添えたもの。ご飯とソースだけならRM 2~4程度。

<筑波大学甲斐田先生開拓中のナシレマのお店>

Nasi Lemak Antarabangsa (@Kampung Baru): 超有名店。

Nasi Lemak (Mak) Wanjor (@Kampung Baru): 超有名店。

Nasi Lemak Atan (@Chow kit): 持ち帰り専門。モダンな感じ。夕方→早朝の営業。

Nasi Lemak Motor (@Chow kit): 地元で人気、昼過ぎには売り切れる。

Nasi Lemak CT Garden (@Jl. Dean Sultan Sulaiman)

RA Nasi Lemak (@Jl. Raja Abudullah)

d-lite (@Ampang Park Shopping mall GF):

マレーシアのお土産

<スズ製品(高級)>

スズの産地だったのでpewter(しろめ)製品がマレーシアらしい。
Royal Selangor 社が有名。

<お茶>

BOH茶

安くておいしい。オススメ。マンゴー風味などいろいろなフレーバーもある。

<Teh Tarik(テタレ)スティック>

お茶、砂糖、ミルクが一つになっている。激甘でマレーシアらしい。
ショウガ入りのものはそれほど甘くなく、ショウガ好きには良い。

<white coffee スティック>

white coffeeはマレーシアのイポーから広がったコーヒーで
マレーシアらしい。砂糖、ミルクが一つになっていて激甘。

<キャンデー、グミ>

Lot100。マンゴー味、ドリアン味などあり、マレーシアらしい。
個包装なので大量配布用に良い。

<世界一の袋ラーメン>

「ペナン ホワイトカレーヌードル」は世界一おいしいらしい。
2014年度は同じ会社の「トムヤムヌードル」が世界一になった。

<石けん>

なまこ石けん:女性に人気

